TOKIO MARINE Topics (物流関連速報)

名古屋港のシステム障害による物流への影響

TOKIO MARINE GROUP
To Be a Good Company
東京海上日動火災保険株式会社
（2023 年 7 月 5 日）

各種ニュース報道のとおり、7 月 4 日(火) 名古屋港の全てのコンテナターミナルでコンテナ搬出入などを一元管理する「名古屋港統一ターミナルシステム（NUTS）」にてシステム障害が発生しており、5 日(水)も搬出入作業も停止しています。本号では、同港を介する物流への影響についてご連絡致します。

1. 日本最大級の貿易港　名古屋港

名古屋港は、愛知県の名古屋市、東海市、知多市、弥富市、海部郡飛島村にまたがる、日本の主要な国際貿易港です。なかでも、港の陸地部分（臨港（りんこう）地区）の面積は日本一です。

令和 4 年度の全国港別貿易額では、名古屋港の輸出額は成田空港に次ぐ第 2 位の 14 兆 130 億 4 千 8 百円、輸入額は 7 兆 1 千 974 億 58 百万で 3 位となっています。

令和3年度の港湾統計によると、総取扱貨物量は1億7,779万トンと、平成 14 年から 20 年連続で日本一となっております。また、外貿コンテナ取扱個数は約 254 万 TEU で、国内 3 位です。

名古屋港コンテナターミナル　写真：後藤　昌美/アフロ

2. システム障害による影響

その名古屋港のコンテナターミナルで、4 日(火)午前 6 時半頃からシステム障害が発生しており、トレーラーへのコンテナの積み降ろし等の作業が停止しております。障害が発生しているのは、名古屋港の5つのターミナルで本船積み降ろし・コンテナ搬出入・コンテナ貨物保管・保税管理等を一元的に管理するシステムであり、名古屋港運協会が 1999 年に導入し、今年 3 月に一新したばかりでした。警察は、サイバー攻撃の可能性もあるとみて調べています。協会も原因を調べており、6 日からの作業開始をめどにシステム復旧に尽力しています。

本船作業について、4 日入港分以降は一部でマニュアル対応したものの、作業の目途が立っていません。本船によっては寄港ローテーションの変更もあった模様です。名古屋港運協会名古屋コンテナ委員会ターミナル部会は 6 日以降について、対応策が決まり次第、関係先に連絡するとしていますが、コンテナの保管スペースがなくなれば、船舶の入港が制限される可能性もあります。

上記情報につきましては、あくまで現時点での状況をご報告するものです。最新情報を常にご確認いただきたく、どうぞよろしくお願いいたします。

◇◆

【出典】財務省貿易統計　https://www.customs.go.jp/nagoya/boueki/download_nenhyou.htm

国土交通省令和 3 年港湾統計（年報）https://www.mlit.go.jp/k-toukei/R3kowan-datebase.html

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。

マリントピックス　バックナンバー